令和７年度　衆議院海外派遣　報告書概要

令和７年９月３日

１．団名

衆議院英国、オランダ及びフランスにおける社会保障制度・労働事情調査議員団

２．目的

英国、オランダ及びフランスにおける医療をはじめとする社会保障制度及び労働事情の調査のため

３．派遣議員団

団長	厚生労働委員会	理 事	井坂　信彦（立憲）
	同	理 事	岡本　充功（立憲）
	同	理 事	浅野　　哲（国民）
	同	委 員	濵地　雅一（公明）
	同	委 員	田村　貴昭（共産）

同行　　衆議院厚生労働調査室首席調査員　　青木　修二

４．派遣期間

令和７年８月１７日（日）から２４日（日）までの８日間

５．派遣国

英国、オランダ、フランス

６．主な調査内容

（１）英国

①保健社会省を訪問し、英国の医療提供体制の概要、ＧＰ（General Practitioner：かかりつけ医）の役割、予防医療の取組等について説明を聴取し、質疑応答を行った。

②ウエストミンスター・ジョブセンタープラスを訪問し、ユニバーサルクレジット（普遍的給付制度）の概要、ジョブセンタープラスの役割等について説明を聴取し、質疑応答を行うとともに、施設内を視察した。

③フランシス・クリック研究所（欧州最大規模の生物医学研究所）を訪問し、研究所の概要、疾病・感染症等の分野における最先端の研究体制等について説明を聴取し、質疑応答を行うとともに、研究所内を視察した。

④ＲＣＧＰ（ＧＰの職能団体）を訪問し、ＲＣＧＰの概要、ＧＰ制度の役割、プライマリ・ケアの重要性等について説明を聴取し、質疑応答を行った。

（２）オランダ

①オランダ労働組合連盟を訪問し、オランダの年金制度改革、ワークライフバランス政策、職業訓練・リスキリングの現状等について説明を聴取し、質疑応答を行った。

②ビュートゾルフ（非営利の在宅看護組織）の創設者を訪問し、少人数の看護師チームが地域で自律的に活動し、包括的な在宅ケアを提供する訪問看護の取組等について説明を聴取し、質疑応答を行った。

③クリア・ホスピスを訪問し、オランダの緩和ケアの提供体制、尊厳死の実態等について説明を聴取し、質疑応答を行うとともに、施設内を視察した。

（３）フランス

①サノフィ社を訪問し、世界的な製薬企業におけるグローバルな研究開発体制、ＡＩ技術の活用状況等について説明を聴取し、質疑応答を行った。

②全国家族手当金庫を訪問し、家族、低所得者、障害者、生活困窮者等を対象とした各種手当による支援内容等について説明を聴取し、質疑応答を行った。

③労働・保健・連帯・家族省を訪問し、フランスにおける医薬品不足の現状及び具体的な対応策等について説明を聴取し、質疑応答を行った。

④ステーションＦ（世界最大級のスタートアップキャンパス）を訪問し、施設内を視察するとともに、同施設に入居しているスタートアップ企業から説明を聴取し、質疑応答を行った。

⑤フランスにおける社会保障制度、労働事情等について、在留邦人（医療関係者及びＯＥＣＤ関係者）と意見交換を行った。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。